

男女共同参画標語
最優秀賞
「男女とも 歩みあわせて
輝くとりで」
宮下拓也さん 藤代南中学校(当時)

36号
平成26年11月1日発行

風

優秀賞
学生部
「同じだね 働く力と 支える心」
「認め愛 支え愛 補い愛」
「男女の手 大きき違えど 価値は同じ」
一般の部
「女の手男の手 合せた未来 取手から」
「役割を 担う意欲と 任せるゆとり」

第18回
女と男ともに輝くとりで集い
「取手で輝く人★取手を輝かせる人」
日時：平成26年11月8日(土)
場所：福祉交流センター
(取手市役所敷地内)
時間：12:30 開場 13:00 開会
◎ トークイベント
登壇予定 (順不同)
● 太田皓弓さん (信楽寺 僧侶)
● 島田忠幸さん (スタジオ忠 彫刻家)
● 霜多増雄さん (シモタファーム代表取締役)
● 千葉真理子さん (ふれあい通り法律事務所 弁護士)
● ダブルダッチDIANA
◎ オペラ (結城滋子さん)
◎ カフェ/クラフトコーナー (ガールスカウト)
◎ ふくろうの郷 (障害者支援施設) 物品販売
◎ 打ちたて蕎麦試食、ハーブティ試飲

好評企画
「取手で輝く人★取手を輝かせる人」
昨年の第17回「とりでの集い」では、取手を拠点として事業や活動をしている方々が登壇し、ご自身の体験談や現在、未来についてお話しくださいました。地域の和や絆を生かし、新しい道を切り開いていく若き企業家、伝統を守りつつ取手の魅力を再開拓する老舗の経営者、定年退職後の趣味をきっかけに地域の和や絆をつなぐ活動を続けるそば打ち愛好会など、登壇者の実体験は非常に興味深く、来場者からも好評を得ました。アンケートでは、「ユニークな企画で良かった。他に活躍されて

いる人の話も聞きたい」「取手で頑張っている人の話に感動した」「もっと聞きたかった」「この先の人生の参考になった」など要望を含めた感想が多数寄せられました。

こうした反響に応え、第18回では、「取手で輝く人★取手を輝かせる人」の第2弾が催されます。取手には様々な分野、形で活躍されている市民がたくさんいます。今年はそのような人がどんな話を聞かせてくれるのでしょうか。

輝き方は人それぞれ。だからこそ面白い!!
取手を拠点に活躍する多士済々の中から今回のトークイベントに参加いただくのは、次の

今年もあります!!
第18回 女(ひと)と男(ひと)ともに輝くとりで集い
平成9年に男女共同参画事業として始まった「女と男ともに輝くとりで集い」は、今年で18回を数えます。今や11月の恒例行事のひとつになった「とりでの集い」の最大の特徴は、市民手作りの市民によるイベントであるということ。参加者が楽しみながら、社会について、地域について、そして家族や自分の生き方について考えることができます。取り上げるテーマや趣向はその時々々の社会問題や関心事、環境変化によって毎回異なりますが、参加する皆さんにとっては、視野を広め、日々の生活に埋もれがちな自分自身を見つめ直す良い機会になるでしょう。

4名と1組の皆様です。
・若くして女性僧侶の道を選んだ太田皓弓さん。
・彫刻家として精力的に活動を展開する島田忠幸さん。
・安心安全な野菜づくりをこだわるシモタファーム代表取締役の霜多増雄さん。
・子育てをしながら法科大学院に学び、現在、弁護士として活躍する千葉真理子さん。
・ダブルダッチ(なわとび競技)でギネス記録を更新。世界大会三連覇の実績もある女性4人のチームデリアナ。
実行委員が登壇者を選ぶにあたって特に留意したのは、「多種多様な分野」で、「自らの特技や個性を生かし」、「独自の道を切り開いている」こと。

アトラクションも盛りだくさん!
当日は、トークイベントの他にも楽しい催しが企画されています。まずは、オペラ歌手として活躍されている結城滋子さんの独唱。音楽で癒やしのひとときをお過ごしいただけます。無料の「カフェ&クラフトコーナー」は今年も用意されています。さらに、昨年好評の「打ちたて蕎麦」の試食に加え、シモタファームの「フレッシュハーブティ」も試飲いただけます。「ふくろうの郷」では、手作り雑貨や地元野菜などの販売を行います。

予約不要ですので、ぜひお気軽にお出かけください。
主催：女と男ともに輝くとりで集い実行委員会
お問い合わせ：取手市市民協働課
電話 0297-74-2141(下園)

個性、生き方は人それぞれ。様々な体験談、人生観を知ること、自分自身について見えてくるものがあるかもしれません。



相棒のミニパト前で敬礼!

腹話術が警察官の始まり
「子供の頃に参加した交通安全教室で指導官の行う腹話術芸が楽しくて、自分でもやりたいというのがそもそもの発端でした。現在は技術レベルの向上をはかり、再度披露する機会を待っています。警察官になって1年を過ぎたころ、大きなショックを受

男女共同参画社会を職場から女性警察官、目標は交通死亡事故ゼロ!
取手警察署女性巡査長(職務上お名前伏せさせていただきます)
最近女性警察官の姿をみかける事が多いと感じますが、全警察官に占める割合は低く目標の10%には届いていません。その中で頑張っておられる女性警察官を訪問し、忙しいなかで仕事状況についてお聞きしました。経歴は、茨城県出身、警察学校終了後は主に県南地区の交番、交通課に勤務し、現在は取手警察署・交通課に勤務しています。お会いした印象は気さくで明るく優しい女性で、楽しい雰囲気なかでお話を伺うことができました。

けました。事故現場で被害者の傍らに本人の身に付けていたたろう靴、帽子などが散乱しており、事故の凄惨さを目の当たりにしたのです。今でもよく覚えています。このとき改めて事故撲滅を果たそうと誓いました。」

その後職場を変わられ、現在所属の交通課での主な仕事内容は、人身事故発生時の緊急出動に加え、交通規制、ミニパトでの巡回、交通事故撲滅の啓蒙活動など広範囲にわたっているのですが、常に当時の気持ちを忘れずに仕事に従事されています。

女性警察官としての苦労と工夫
「基本的には男女同一条件の職場ですが、体力面ではハンデを感じる時があります。例えば、速度・飲酒の取締りに甘く見られていたり感じたり、感情的・乱暴な行動に出ようとする男性に対応する際には、緊張を感じる場合があります。そのための体力づくりの稽古(逮捕術、柔剣道は必須)は欠かせません。しかし、女性で良かったと思う場面もありますね。女性被疑者への対応では男性とは異なった気遣いや対応ができますし、調べもスムーズに運ぶことができます。」

仕事と家庭の両立について、「結婚2年目で、共に公務員、当直番の時には夫がお弁当を作ってくれます。掃除・洗濯などの家事は私の分担と、うまく割り振りができていると思います。勤務形態は8時30分から17時15分までですが、この他に緊急出動や夜間対応があります。仕事と家庭の両立は実現できていますし、これからは家族を増やしていきたいです。」と楽しげに語ってくれました。

「基本的には男女同一条件の職場ですが、体力面ではハンデを感じる時があります。例えば、速度・飲酒の取締りに甘く見られていたり感じたり、感情的・乱暴な行動に出ようとする男性に対応する際には、緊張を感じる場合があります。そのための体力づくりの稽古(逮捕術、柔剣道は必須)は欠かせません。しかし、女性で良かったと思う場面もありますね。女性被疑者への対応では男性とは異なった気遣いや対応ができますし、調べもスムーズに運ぶことができます。」

「やりがい」を感じるときですが、ひき逃げ交通事故の被害者の検挙に貢献できたとき、交通違反取締時の指導に対して感謝や反省の言葉を頂いたときなどに強く感じます。長時間勤務となるとときもありませんが、使命感があるので、つらい、苦しいと感じたことはありません。警察組織は以前は男性中心だったといえますが、現在は女性の割合が増加中です。この中で女性警察官の手本になりたいと常々思っていますし、女性の応募者増加に役立てればと思っています。当面の目標は、交通事故を無くす、特に死亡事故ゼロの達成です。」と力強く語ってくれました。

最後に、市民の生活を守って頂いていることに感謝申し上げますと共にご家族の幸せをお祈りいたします。

茨城県警察の男女共同参画社会に向けた今後の方向性
安全で安心して暮らせる地域社会の確立に向け、警察全体の質的強化を図るためには、女性の視点を警察行政に反映させる必要があることから、全ての職員がワークライフバランス(仕事と生活の調和)を意識できる働きやすい職場環境づくりを推進し、男性の育児参加等をより一層促進していくなどして、今後も積極的な女性の採用・登用を、茨城県警察は推進しています。(土屋)

【茨城県の女性警察官の採用状況】

年度	H23	H24	H25	H26
採用者総数	202	229	221	169
うち女性	25	46	47	34
割合	12.4%	20.1%	21.3%	20.1%

「やりがい」を感じるときですが、ひき逃げ交通事故の被害者の検挙に貢献できたとき、交通違反取締時の指導に対して感謝や反省の言葉を頂いたときなどに強く感じます。長時間勤務となるとときもありませんが、使命感があるので、つらい、苦しいと感じたことはありません。警察組織は以前は男性中心だったといえますが、現在は女性の割合が増加中です。この中で女性警察官の手本になりたいと常々思っていますし、女性の応募者増加に役立てればと思っています。当面の目標は、交通事故を無くす、特に死亡事故ゼロの達成です。」と力強く語ってくれました。

最後に、市民の生活を守って頂いていることに感謝申し上げますと共にご家族の幸せをお祈りいたします。

「やりがい」を感じるときですが、ひき逃げ交通事故の被害者の検挙に貢献できたとき、交通違反取締時の指導に対して感謝や反省の言葉を頂いたときなどに強く感じます。長時間勤務となるとときもありませんが、使命感があるので、つらい、苦しいと感じたことはありません。警察組織は以前は男性中心だったといえますが、現在は女性の割合が増加中です。この中で女性警察官の手本になりたいと常々思っていますし、女性の応募者増加に役立てればと思っています。当面の目標は、交通事故を無くす、特に死亡事故ゼロの達成です。」と力強く語ってくれました。

シリーズ No.22

企業訪問

男女共同参画社会を職場から ビールの魅力をたくさんの人に伝える

キリンビール取手工場 安部智子さん

現在、工場見学者などが訪れるゲストホールのマネージャー補佐兼ショップ責任者として勤務する安部さんは、とても明るく元気で気さくな33歳の女性です。



ゲストホールのショップ前で。さわやかな笑顔の皆さん（中央が安部さん）

職場では

入社後1年位でハートランドビールの製造過程を紹介する工場の見学ツアーを企画し、実現しました。現在も好評を得ています。ゲストホールには11名の女性が働いており、見学者やイベント開

催時の接客を行っています。未婚の方、既婚の方、お子さんがいらつしやる方、様々です。毎日行われるミーティングでは、それぞれがアイデアを出し合い、お互いを認め合う良い雰囲気の中で進められます。店内の陳列方法や会場の模様替え等、女性ならではの細やかな配慮があちこちに見られます。お客様に喜んでもらいたい、キリンをもっと知ってもらいたいという同じ目的に向かってそれぞれが頑張っています。

入社後間もなく、日本地ビール協会認定のビアテイスターの資格を取得しました。40〜50種類のビールの味や品質を見極めるものです。安部さんの接客においてもこの資格が活かされています。見学に来た方々にビールの味の違

コレクターとして

安部さんの趣味はビールびんのコレクションです。そのきっかけとなったのは、学生時代の「ハートランド」との出合いです。近所の酒屋の店頭で並ぶ、手触りの良い綺麗な形をした緑色のびんに一瞬で魅せられました。

その後、入社し、ハートランドがキリンの製品であったことがわかり、改めて感動しました。ハートランドをきっかけに、収集したびんや缶は30本以上にのぼります。その内の数点をゲストホールに展示し、多くのお客様に観ていただくことができ、好評を得たことは大変嬉しいことです。



ハートランドのビールびん(透明なエメラルドグリーン。ラベルはなくびんそのものにマークが施されている)



収集したびん・缶の展示会の様子

た。現在も期間限定で展示中です。

将来に向けて

あまりビールを飲まない方にもビールの良さを知ってもらえるよう、そのきっかけづくりをしていきたいと思っています。そのため、ビールに関する図書を読み、日々の勉強は欠かしません。ビールのみならずワインのセミナーにも継続して参加しています。

今の職場は、女性の良さを発揮させてくれる環境づくりに取り組んでおり、働きやすい職場となっております。現在安部さんは独身ですが、結婚しても大好きな今の仕事を続けていき、日本の酒文化の発展に貢献したいと考えています。今後ますますのご活躍を期待しております。(平塚)

取手市に初めて 男性の保健師さんが誕生!

いろいろな職業に女性が進出すると同時に男性が女性の職場に飛び込んだ場合、どのような問題があるのか、また、女性の職場に男性が進出することの利点など気になる点です。

今回は保健師さんの日常の仕事についても教えて頂き、スマートフォン取手市に向けて保健師さんを身近な存在と感じただけならと思ってお話を伺いました。

取手市男性保健師第一号の青柳悦男さんは市内在住の33歳、保育士、看護師を経験した後この春から取手市の保健師となりました。

保健師って どんな仕事でしょう

まず、保健師の仕事について先輩保健師の柳さんに伺いました。看護師の資格を持ち、病気を治す手助けをするのが看護師に対し、病気になるように予防する仕事は保健師とのことでした。保健師は、赤ちゃんが

生まれる前から就学まで母子の健康管理に携わり、その後も市民の健康を健康診断や健康相談などを通して支えます。近頃新聞をにぎわしている幼児虐待や育児放棄などを未然に防げるよう、新生児家庭訪問などをおこなっています。本日取材させて戴いた青柳悦男さんは現在予防

接種関連の担当をしています。

「この職業に就くこと
思ったのがきっかけ」

保育士をしていて、児童虐待などの困難なケースに出合いもっと勉強したいと思い、それで看護師を目指して大学に入り直しました。看護師としては主に透析室で勤務していましたが、重症化で苦しむ患者さんの現実を目の当たりにして予防の大切さを感じ、改めて保健師に就こうと思いました。

職場での、男女の仕事の違いや 困ったことなどありますか

母子保健の事業では、男性は母親の気持ちへの理解など出産、育児経験のある女性職員には及ばない点はあると思いますが、今のところ仕事上で困ったことはありません。今後、新生児家庭訪問などでは男性が訪問した

仕事をしながら子育て 辛くないかなどありますか

現在は予防接種担当で、各種の予防接種を生後2カ月から高齢者までの対象者がもれなく接種できるように手配しています。予防接種の勧奨で親から感謝されたり、実際に接種に結びついた時はうれしく思います。また健診の際、乳幼児に人見知りされたが、女性職員ではスムーズに対応していたので、辛く感じました。

この仕事に男性が増えること どう思いますか

これまでの女性が多い職場(看護師、保健師、保育士など)には、男性が増え、反対に男性が多い職場(例えば建築業や運送業など)には女性が増えてほしいと

思います。そうなれば職業に男性的・女性的という意識がされなくなり、本当の意味での男女共同社会が実現したと言えるのではないかと思います。

今後どのように活動を していきたいですか

保健師、看護師、保育士の知識や経験を生かし、市民の健康や生命を守っていきたいと思います。具体的には今の担当である予防接種への理解をさらに深めて、正確に対応できるようになりたいです。糖尿病などの重症化予防の取り組みへの参加や、育児不安や子育て支援、父親に対して育児参加促進をしていきたいです。

青柳さんはホームビジョンという取り組みに関心を持ち、その普及の可能性について研究しました。それは、いま増えつ



保健センターの窓口で丁寧に
対応する青柳さん

て子育て不安や孤立感を解消できるようにする取り組みです。取手市でも、初めて子育てを

編集後記

「風」の読者から縁あって編集の側へ参加することになりました。取材と言う目的でいろいろな方からお話を伺うことができ、各自持ち寄った記事が委員皆で編集していく作業は少し刺戟となりました。これからはみなさまからの情報をお待ちしております。(河口)

発行日 平成26年11月1日
編集発行 取手市 市民協働課
編集協力員 平塚恒夫/下園淳子
土屋雅則/河口淳子
〒302-8585 取手市寺田51339
TEL 0297-741-2141
FAX 0297-731-5995
H・P http://www.city.tatebayashi.jp/
Eメール s-shiken@city.tatebayashi.jp/
表紙絵 有本 唯

「風」を一緒に作りませんか
この男女共同参画情報誌「風」は、市民編集員の方と取手市が協力して企画・取材・原稿作成・編集などを行っています。「風」の発行にご協力いただける編集員の方を募集します。詳細や応募方法については、取手市 市民協働課 までお問い合わせください。(問い合わせ先は右参照) 応募お待ちしております!

している母親対象に「親子の絆づくりプログラム」赤ちゃんがきた!」が26年5月より始まりました。このプログラムに参加することで子育ての知識を学び、子育て仲間を作ることが出来ます。孤立した子育てをする人がいない温かい地域づくり、安定した母子関係の形成を目指し、今後も一人でも多くの方に参加していただきたいと思っています。これからの取手市を担う市民の健やかな健康を支える若き保健師の皆さんに感謝し、応援のメールを送ります。(河口)